

極真かぶと新聞 4月号

発行 支部長・師範 岩田 厚

平成22年4月6日発行 (五段、中級教育カウンセラー、上級加圧トレーニングインストラクター)

<http://www.kyokushinkarate.org/>

極真精神 「頭は低く、目は高く。口慎んで、心広く、孝を原点として他を益す。」

<< 春期昇級審査会 >>



春期昇級審査会を13日高松会場で、14日丸亀会場で行いました。

近年、少年部の会員が増えた関係で受審者も幼年と小学生が多くを占めていました。

基礎体力にしても、空手の技にしても小学生時代に習得したものは体にしみこまれ、一生の財産になります。また、空手の稽古とトレーニングにより身体能力が高くなることで、小学校・中学校・高校の体育の授業でいろんな種目の競技を行います。十分対応できる能力を発揮できます。同時に空手の稽古で集中力が身に付き、学校の授業中、集中して授業を受けることができます。

空手道の稽古を通じて青少年の成長に役立つよう指導していきます。

今後も極真空手にご支援と語気揚力を賜りますようお願い申し上げます。

【交流と親善】

香川支部の合同稽古・指導員講習会

平成22年3月14日、15時30分から17時

香川支部の合同稽古を丸亀土器川体育センターで行いました。「交流と親善」をテーマに香川支部内の道場生が一同に集まって稽古しました。

基本稽古から始まり、先週同様日頃道場で行っていない基本を少しアレンジした基本を行いました。

後半は、4月の第6回国際大会に出場する選手による試合練習を行いました。1ヶ月半後に迫っているだけに迫力ある試合が展開されました。

4月	24 25	土 日	第6回国際親善空手道大会 少年・女子・壮年	千葉県幕張メッセ
5月	16	日	香川・岡山西支部内交流試合	笠岡市民体育センター
6月	6	日	岡山西支部 昇級審査会 (予定)	笠岡市民体育センター
	12、13	土日	全日本ウエイト制空手道選手権大会	大阪府立体育館
	19 20	土 日	香川支部 昇級審査会 丸亀会場 (予定) 昇段級審査会 高松会場 (予定)	
6月	27	日	全中国空手道選手権大会	広島市
7月	25	日	全四国空手道選手権大会	愛媛県
7月 8月	31 1	土 日	夏合宿	五色台青少年自然の家
			2010岡山県空手道選手権大会	
			1日体験旅行	

第4回支部内交流試合の出場規定について

5月16日(日)

「第4回支部内交流試合」の出場規定についての詳細です。

今回の第4回支部内交流試合は、新人戦として行います。よって、個人組手および型の出場に制限を設けました。

- ① 過去1年間（平成21年5月から22年4月まで）に上級クラスまたは、県大会以上で優勝（型・組手）した選手は出場できません。

尚、規定は、小学生2年以上の上級クラスに限りです。幼年、小学1年、中学、高校、壮年、女子、一般の出場制限は有りません。

団体戦の小学生の部においては出場制限はありません。

詳細、8月9日全四国大会、

8月21・22日の第4回国際青少年大会、

10月11日全中国大会、

11月1日第7回香川県大会、

12月6日2009岡山県大会の上級クラス

大会申込書は、各道場に置いてあります。申し込み締め切りは、4月16日まで。

道場稽古のお休み

4月29日(木)～5月5日(水) ゴールデンウィークのため

注：道場によっては異なることがありますので指導員までお確かめください。

	4月23日(金)	24日(土)	25日(日)
県本部上福岡道場		○(近藤)	
太田道場		○(河野)	○(河野)
川部道場	○(河野)		
屋島道場	×(やすみ)		
丸亀道場	×(やすみ)		○(近藤)
林田道場		○(近藤)	
詫間道場		○(吉田)	
観音寺道場			○(吉田)



大山祇神社で必勝祈願



初日からハードなトレーニングと稽古



ミット蹴りは、1000本を超えた



防具を着けてガンダム組手



夕食の支度をする岩田師範



メニューは、ハンバーグと目玉焼きにキャベツ等



香川・岡山西支部の選手



広島、岡山、香川、徳島支部の合同稽古



練習試合参加者



最終日の夕食はバーベキュー

強化合宿と遠征練習試合

昨年の国際大会の結果は、山地峻介が10歳型の部で優勝、糸川響が同クラス第3位入賞。谷口敦規が11歳組手の部（軽量）で優勝しました。

「今年こそは、自分も入賞するぞ。」と、2泊3日の強化合宿を実施しました。

今治市上浦町に入ってまず向かったのが大山祇神社。ここで必勝祈願をしました。

交流館に着くとすぐに空手着に着替え稽古を開始しました。

スタミナ養成をテーマに練習メニューを組みました。

問題がひとつありました。この施設は、自炊をしなければいけないことです。料理を作るのは岩田師範です。選手達は残さず食べてくれるでしょうか。という不安は吹っ飛びました。夕食から誰一人残さずきれいに食べてくれました。2つか目は、早朝稽古をして朝食。朝食のあと稽古して三原に練習試合に向かいました。1時30分から4時30分までみっちり稽古しました。ただ、試合内容が良くなかったため、宿舎に帰って夕食後、体育館で予定になかった稽古をしました。選手達は、歯を食いしばって頑張りました。次号につづく。

極真会館を退会、休会されるときは、必ず東京総本部。県支部事務局に電話をしてください。連絡、手続きを行わない限り、会員として年会費、および月会費は、引き落とされます。連絡なしに引き落とされた会費は返金できませんのでお気をつけください。

事務局の電話番号 0877-28-8880 FAX0877-28-9888

道場訓

一、吾々は心身を錬磨し、確固不拔の心技を極めること

わたしたちが、空手を修行する目的は、自分自身の体と心をきたえることにあり、真剣にけいこに打ち込むことで、どんなことにも動じない心と強い意志を習得して行かなければならない。

一、吾々は武の真髄を極め、機に発し感に敏なること

わたしたちは、武道としての空手の道を徹底的に追求していくことで、どんな状況でも臨機応変に対応する力と相手の心を理解する思いやりや優しさ、どんなことにも素直に感動できる心を身につけなければならない。

一、吾々は質実剛健を以て、克己の精神を涵養すること

わたしたちは、自分自身を飾ることなく、真面目で素直に空手の修行に打ち込むことによって、自分自身に打ち勝つ強い心を養っていくことを心がけなければならない。

一、吾々は礼節を重んじ長上を敬し、粗暴の振る舞いを慎むこと

わたしたちは、礼儀を身につけ、目上の人を敬い、人前で空手の力を誇示するような行動をとってはならない。

一、吾々は神仏を尊び、謙譲の美德を忘れざること

わたしたちは人間の力が及ばない自然や宇宙の摂理を重んじ、神や仏を敬い、相手のことを大切にし自分を謙遜する態度を忘れてはならない。

一、吾々は智性と体力とを向上させ、事に臨んで過たざること

わたしたちは、空手の修行によって知性と体力を向上させ、どんな状況でもあせらず、冷静に対処できるようにならないといけない。

一、吾々は生涯の修行を空手の道に通じ、極真の道を全うすること

武道としての空手の修行は、一生かけて追い求めるものであり、一生を通じて極意に一步でも近づこうとする姿勢、それが極真空手の本義である。

稽古の終わりに全員で斉唱しますが、道場訓の意味を一緒に載せましたので保護者の方も呼んでください。